

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月17日更新

事務事業名		地域コミュニティブランド協議会参画事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連		
総合計画体系	政策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり				所属部	政策部	課長名	坂本 政誠
	施策	12	商工業の振興				所属課	政策課	担当者名	工藤一伸
	基本事業	37	異業種連携の促進				所属班	政策班	(内線)	1234
予算科目		会計一般	款 2	項 1	目 9	事業連番 11626	法令根拠	成果優先度評価結果 : コスト削減優先度評価結果 :		
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 26年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 26年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 26 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	現在、様々な活動を行っている企業、団体等を繋ぐ、仕組みづくりとして、「地域コミュニティブランド」の理論に基づく協議会が設立され、本市も活動のブランド化及び地域の自立したコミュニティビジネスの構築のため協議会へ参画している。
【業務の流れ】	「地域コミュニティブランド」の理論に基づく取組の検討等
【主な予算費目】	
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	現状として、市民等からの意見等はないが、平成25年度に本市において地域コミュニティブランドシンポジウムを開催し、約200名の市内外からの来場者があった。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)	27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
本市における活動のブランド化及び地域の自立したコミュニティビジネスの構築のため協議会のプラットフォームを活用して検討する。		具体的事業内容の検討等
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア: 会議開催回数	回	協議会において参画するための負担金が不要であったため
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
本市の個人、企業、団体等	団体	→ ア: 協議会参加団体数
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
協議会に参加することにより、本市が行う活動のブランド化及び市外への発信。	放送	→ ア: 市外への活動発信数
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
企業、団体等との連携強化を図る取り組みについて成果指標とした。		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	25年度 実績(決算)	26年度 実績(決算)	26年度 目標(当初予算)	27年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	28年度 予定	29年度 見込	30年度 見込
① 活動指標	ア	回		0	3	0	5	0	0	0
	イ									
	ア	団体		0	5	0	7	0	0	0
② 対象指標	イ									
	ア	放送		0	2	0	5	0	0	0
③ 成果指標	イ									
	ア	千円								
	イ	千円								
	イ	千円								
	イ	千円								
	イ	千円			100					
	イ	千円		0	100	0	0	0	0	0
入費	イ	千円		0	0	0	0	0	0	0
	イ	千円		0	0	0	0	0	0	0
	イ	千円		0	0	0	0	0	0	0
人件費	イ	人		0	0	2	0	0	0	0
	イ	時間		0	0	40	0	0	0	0
	イ	千円		0	0	159	0	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円		0	100	159	0	0	0	0

事務事業名	地域コミュニティブランド協議会参画事業	所属部	政策部	所属課	政策課
-------	---------------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は26年度の後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>																						